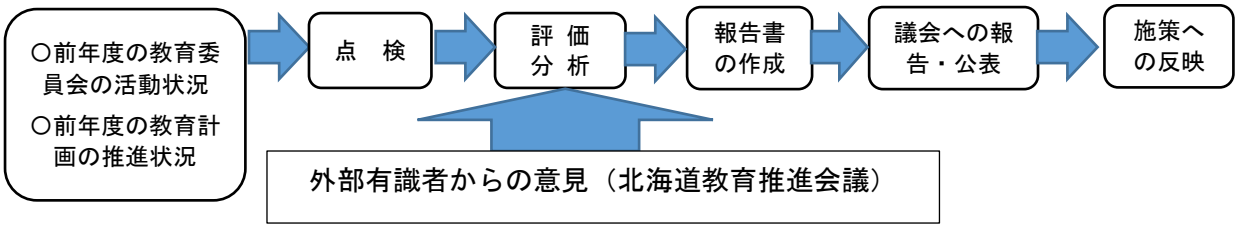
平成 27 年度
北海道教育委員会の活動状況に関する
点検・評価報告書（概要）

１　点検・評価の流れ

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、
教育委員会は、①毎年、②学識経験を有する者の知見を活用しながら、③教育委員会の権限に属する事務の管理・執行の状況について点検・評価を行い、④その結果に関する報告書を議会に提出・公表（平成 19 年度から実施）



２　点検・評価報告書の構成

○第１章　教育委員会の活動状況
　教育委員会の会議の開催状況、法規等の制定及び計画等の策定状況など
○第２章　施策の推進状況
　・個別施策の評価
　北海道教育推進計画（改定版）に掲げている 40 の施策項目ごとに実施状況を評価
○資料編　その他参考資料
　教職員等の研修、研究指定校等一覧、図書館等社会教育施設の利用実績　など

３　「第 2 章　施策の推進状況」の概要

<u>対象年度</u>　平成 27 年度

○個別施策の評価
・ＰＤＣＡサイクルに基づき、取組の実施状況や施策の課題、今後の方向性を整理
・北海道教育推進計画（改定版）に定められた 103 の目標指標について完成年度である平成 29 年度に向けた平成 27 年度の進捗率により 40 の施策項目ごとに定量評価と定性評価を実施
　定量評価：北海道教育推進計画（改定版）に定める目標指標を基に４段階で評価
　定性評価：目標指標がない、あるいは評価上特に考慮すべき事項（全国の平均水準が目標）がある施策項目について定量評価を補足するため２段階で評価

概要１（個別施策の評価）

北海道教育推進計画（改訂版）に掲げた目標の達成状況について、ＰＤＣＡサイクルにて点検・評価を実施。

基本方向ごとにみると、「計画どおり」は「ビジョンの推進に向けた体制づくり」の１本、「概ね計画どおり」は「基本方向２：社会の変化に対応し、新しい時代を切り拓く力を育む教育の推進」を含む１１本、「やや遅れ」は「基本方向１：生きる知恵につながる確かな学力を育み、自立した生き方を支える教育の推進」１本となった。

特に重要と思われる基本方向については以下のとおり。

○基本方向の評価

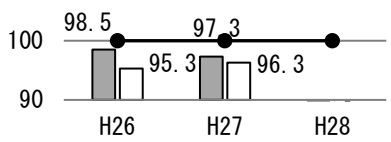
評価区分	計画どおり	概ね計画どおり	やや遅れ	遅れ
基本方向の数	1	１１	1	0

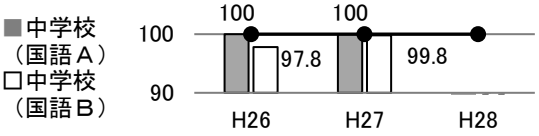
○主な基本方向の評価

知育　基本方向１：生きる知恵につながる確かな学力を育み、自立した生き方を支える教育の推進　評価：やや遅れ

まとめ
・全国学力・学習状況調査の本道の平均正答率は、改善の傾向が見られるが、依然として正答数の少ない児童生徒の割合が高く、授業の改善・充実など、なお一層の努力が必要（小・中学校）

主な指標
全国平均正答率を 100 とした場合の平均正答率（%）　〔全国学力・学習状況調査〕

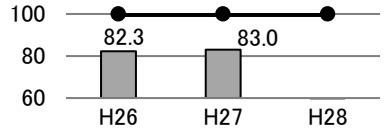


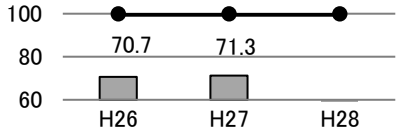


徳育　基本方向３：豊かな人間性と感性を育む教育の推進　評価：概ね計画どおり

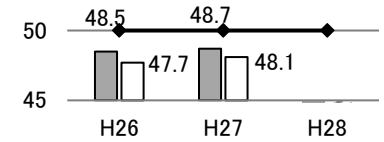
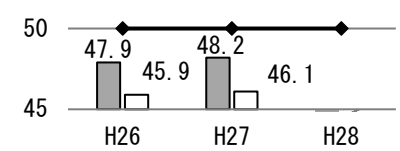
まとめ
・「北海道いじめの防止等に関する条例」及び「北海道いじめ防止基本方針」の趣旨等の普及啓発により、道民全体でいじめ問題に取り組んでいく機運を醸成

主な指標
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うと回答した児童生徒（%）





体育　基本方向４：心身の健やかな成長を促す教育の推進　評価：概ね計画どおり

まとめ
・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点は、小・中学校の男女いずれも全国平均を下回っているが、昨年度との比較では、小・中学校の男女いずれも上昇し、全国との差を縮めている

主な指標
全国平均を 50 とした場合の総合得点のＴ得点〔全国体力・運動能力、運動習慣等調査〕